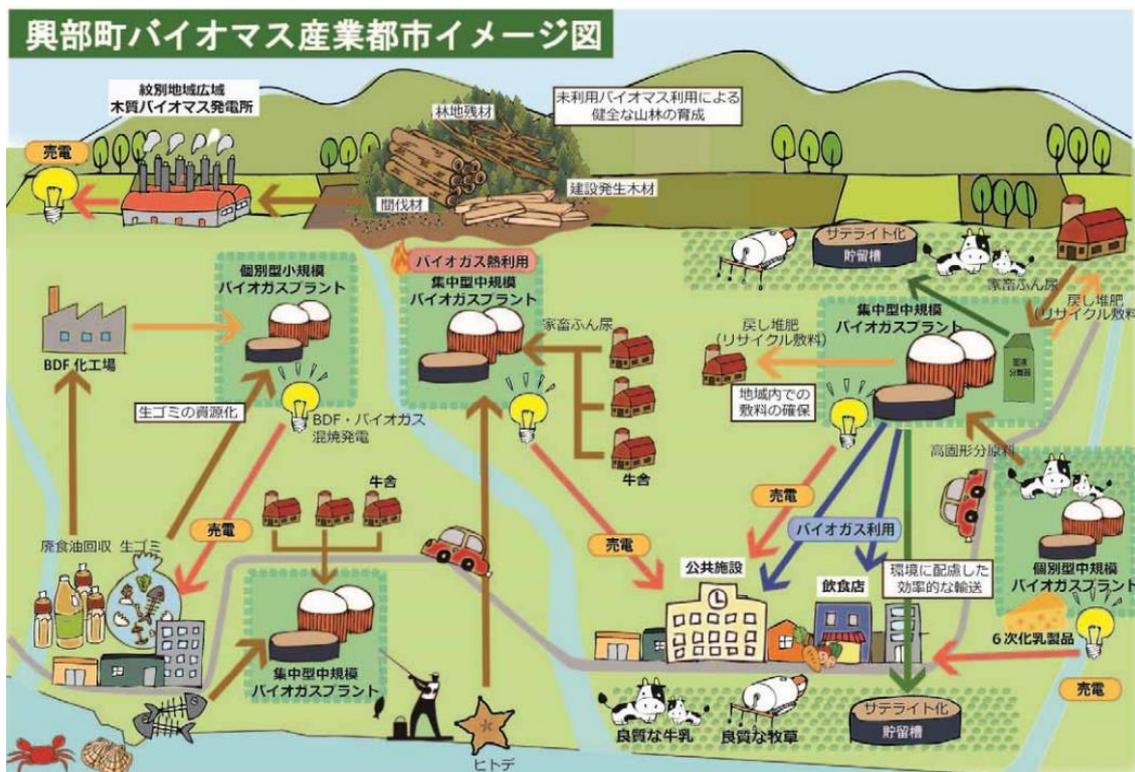


## 北海道興部町

住所	〒098-1692 北海道紋別郡興部町興部710
町長	碓 一寿 (バイオマス産業都市推進協議会 会長)
HP	<a href="https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/index.html">https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/index.html</a>
バイオマス産業都市 選定年度	2014年度
バイオマス産業都市構想	<a href="https://www.jora.jp/wp-content/uploads/2021/02/02_okoppe.pdf">https://www.jora.jp/wp-content/uploads/2021/02/02_okoppe.pdf</a>
担当部署	まちづくり推進課 バイオエネルギー推進係
連絡先 TEL	0158-82-2132
連絡先 FAX	0158-82-2990



## 事業化プロジェクトの概要 1

名称		興部北興バイオガスプラント
		<a href="https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/sangyou/biogas-plant.html">https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/sangyou/biogas-plant.html</a>
実施主体		興部町
使用する技術		湿式メタン発酵
実施体制	プラントメーカー	コーンズ・エージー
	設計・施工業者	岩田地崎・コーンズ・藤共 JV
概要 (計画)	バイオマス原料	乳牛ふん尿・生ごみ・下水汚泥・食品加工残渣
	原料処理量(t/年)	乳牛ふん尿：18,273 生ごみ：176.2 下水汚泥：260.0 食品加工残渣4.61 ※R2年度実績
	原料投入量(t/年)	同上
	生産物	消化液・再生敷料
	発電量(kwh/年)	877,854 ※R2年度実績
	FITの適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT適用 <input type="checkbox"/> FIT対象外
	副産物（液肥等） 生産量(t/年)	18,153



興部北興バイオガスプラント全景

## 事業化プロジェクトの概要 2

名称		バイオガスからメタノール・ギ酸の製造 <a href="https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/sangyou/biomass-methanol.html">https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/sangyou/biomass-methanol.html</a>
実施主体		興部町・大阪大学
使用する技術		メタン酸化
実施体制	プラントメーカー	
	設計・施工業者	
	その他	エア・ウォーター北海道株式会社・ 岩田地崎建設株式会社
概要 (計画)	バイオマス原料	バイオガス
	原料処理量(t/年)	未定
	原料投入量(t/年)	未定
	生産物	メタノール ギ酸
	発電の場合は発電量(kwh/年)	発電無し
	FITの適用	<input type="checkbox"/> FIT適用 <input checked="" type="checkbox"/> FIT対象外
	堆肥化の場合は製造量(t/年)	—
	副産物（液肥等）生産量(t/年)	未定
	プレスリリース	<a href="https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/sangyou/npk8cg0000006k5j-att/opbvt100000019ph.pdf">https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/sangyou/npk8cg0000006k5j-att/opbvt100000019ph.pdf</a>

## バイオマス事業の進捗状況

事業化プロジェクト	進捗状況
1.興部北興バイオガスプラント	2014年：バイオマス産業都市認定 2015年：プラント建設着工 2016年11月：竣工、稼働開始
2.バイオガスからメタノール・ギ酸の製造	2019年：大阪大学と連携協定を締結し、バイオガス中のメタンを常温常圧でメタノール・ギ酸に変換する技術開発を推進。 2020年：バイオガスからメタノール・ギ酸の製造に世界で初めて成功し報道発表 2021年：民間企業を加え連携協定を締結。NEDO先導研究プログラムの採択を受け事業進行中。

## イニシャルコスト（千円）

事業化プロジェクト	1.興部北興バイオガスプラント	2. バイオガスからメタノール・ギ酸の製造
建設費・設備費等	未定	未定
備考	既存の興部北興バイオガスプラントにメタノール・ギ酸の製造のパilotプラントを建設し、工業的な生産に向けた研究を進める。	既存の興部北興バイオガスプラントにメタノール・ギ酸の製造のパilotプラントを建設し、工業的な生産に向けた研究を進める。 ※FIT売電無しモデル構築を目指す。

## ランニングコスト（千円/年）

事業化プロジェクト	興部北興バイオガスプラント	バイオガスからメタノール・ギ酸の製造
人件費	9,600	未定
原料等購入費	7,300	未定
ユーティリティ費	4,000	未定
修繕費	8,300	未定
燃料製造費	-	未定
運搬費	4,000	未定
廃棄物処理費等	0	未定

## 事業の経営状況

事業化プロジェクト	計画との進捗比較	事業実施による効果（地域波及効果の発現状況） 定量化できるものは数値化	
		効果	数値化
1. 興部北興 バイオガスプラント	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>メタン発酵処理による臭気の軽減</li> <li>雇用増</li> <li>新規産業の創出（発電事業）</li> </ul>	
2. バイオガスから メタノール・ギ酸の 製造	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規産業の創出 →ケミカル関係</li> <li>電力系統に依存しないバイオガスプラントの普及</li> </ul>	

a)計画以上に進捗している b)ほぼ計画通り c)計画より遅れている d)進んでいない

## 成功要因

事業化プロジェクト	成功要因
1. 興部北興 バイオガスプラント	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用農家も含めた運営組織の確立</li> <li>原料の安定供給</li> <li>確立された（メタン発酵）技術の活用</li> <li>電力系統制約を受けない立地条件</li> </ul>

## 波及効果（雇用増加、CO2削減効果等）

事業化プロジェクト	成功要因
1. 興部北興 バイオガスプラント	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用増：運転手2名</li> <li>CO2削減</li> </ul>

## バイオマス産業都市推進協議会による支援の希望の有無（■有・ □無）

### 受けたい支援内容

・技術開発や実証の為のマッチング

#### 地域レジリエンス対応としての取組・計画

・事業化プロジェクト2について、系統電力に頼らないエネルギー製造としてレジリエンス強化につながる取組みである。備蓄燃料の製造と常時・非常時問わない活用によってレジリエンス強化につなげたい。